

特許文書分析・査読支援・マップ作成ソフト

PAT MINING

ぱっとマイニングJP&ビューア

新機能一覧

Ver.7.25.5対応版 2025年9月16日

— 新機能・改訂 —

- レポート作成機能(PPTファイル出力)の搭載

分析結果のレポート作成を目的として、グラフ画面をMicrosoft PowerPointに出力する機能を搭載しました。複数のグラフをひとつのファイルにまとめて出力する事もできます。

- グループ分析(関連図)、グラフブラウザ(関連図)のグラフを見やすく改訂

戦略分析 > 出願人グループ分析(または発明者グループ分析) > 実行時に「選択した項目(出願人、または発明者)の関連のみ」をグラフ表示するよう改訂しました。また、単独ノードを非表示にした状態でグラフを表示するよう改訂しました。

同分析画面のグラフ表示設定に「関連図(ツリー)」表示を追加しました。

- 関連図のノード配置を変更した際の「記憶・呼出し」機能を追加

関連図画面で任意に変更したノード位置を記憶するボタン、及び呼出すボタンを追加しました。

- グラフ「色」と「フォント」をリニューアル

ぱっとマイニングJPを新規インストールした際のグラフ色とフォントを変更しました。従来の色設定は「クラシック」としてご利用いただけます。クラシック色と新色の切り替えができます。

- 俯瞰グラフに画面の拡大／縮小機能を追加

- システム辞書に元素名(元素記号)辞書を追加

グラフ作成時に元素名を軸に選択できるよう「元素名辞書」を追加しました。

— その他 —

- パテントマップガイダンスの更新

- ワード辞書の強化

課題ワード、日本語ワード、グループワードのシステム辞書を更新しました。

- グラフ

グラフブラウザの初期設定について、「3Dで表示」をチェックなしに変更しました。

総合ランキング、及び、グラフの軸に「Fターム」を選択した場合、「区切設定」の初期設定を「全部」から「タームコードまで」に変更しました。

- 文書ブラウザ

請求項主従一覧の判定を強化しました。

— 修正 —

- **【出願人グループ分析(関連図)】**

戦略分析 > 出願人グループ分析を実行した際にグラフ種類の名称が誤っていたため正しく「関連図(ミックス)」に表示を修正しました。

- **【時系列/項目分析】【権利状態/項目分析】**

戦略分析 > 時系列/項目分析(または、権利状態/項目分析)の分析条件タブにある項目名称【対象キーワード選択】を【分析対象の項目選択】に修正しました。

- **【グラフ】**

タイトルとグラフの間に余分な空白がある問題を修正しました。

- **【マイメニュー】**

メニューを任意の順番に並べ替えた後に、ぱっとマイニングJPを再起動すると、稀にメニューの名前順に表示される事がある問題を修正しました。

- ① グラフ表示後に「レポート作成」ボタンをクリックします。
- ② PowerPointが起動して、表示していたグラフが出力されます。配布資料が簡単に作成いただけます。



- ☒ レポート用コメントはテンプレートを使用する他にご自身で任意に編集いただけます。
- ☒ グラフ種類のうち「データ表」および「複数 データ表」は、レポート機能をご利用いただけません。

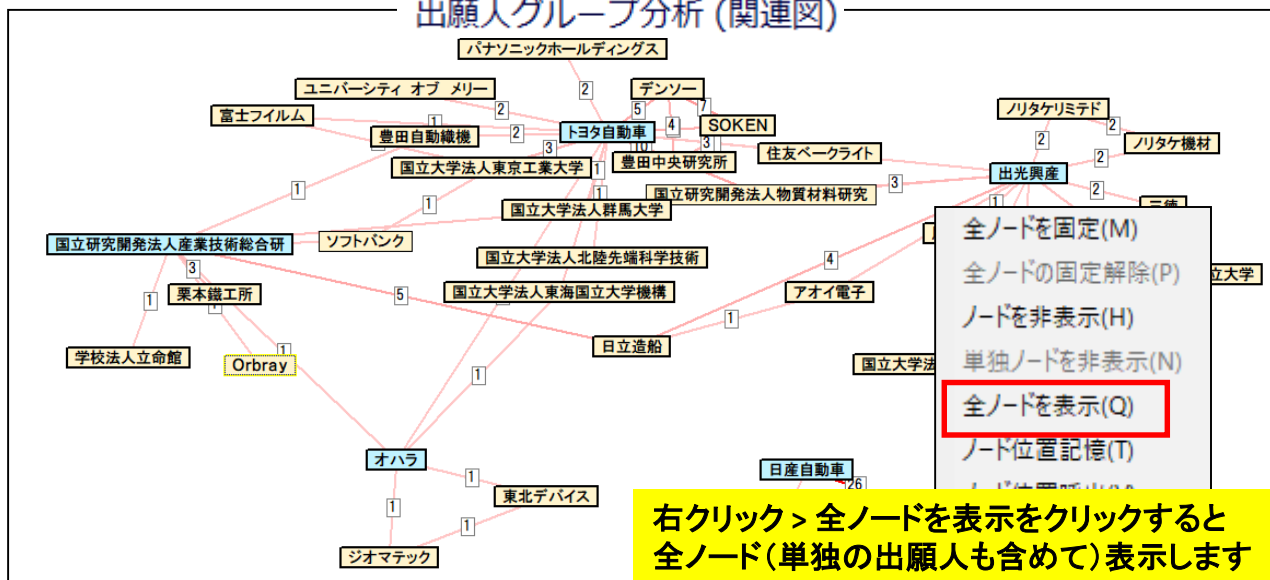
－ 選択した項目に関連するもののみを自動表示 －

- ✓ 戦略分析 > 出願人グループ分析(または発明者グループ分析) > 実行時に「選択した項目(出願人、または発明者)の関連のみ」をグラフ表示するよう改訂しました。
- ✓ 単独ノードを非表示にした状態でグラフを表示するよう改訂しました。共同出願のある出願人のみを表示します(表示切替で単独出願のデータを表示する事もできます)。

<出願人グループ分析>

注目(選択)した出願人に関連するものののみ表示する事で、グラフが読み取りやすくなりました。

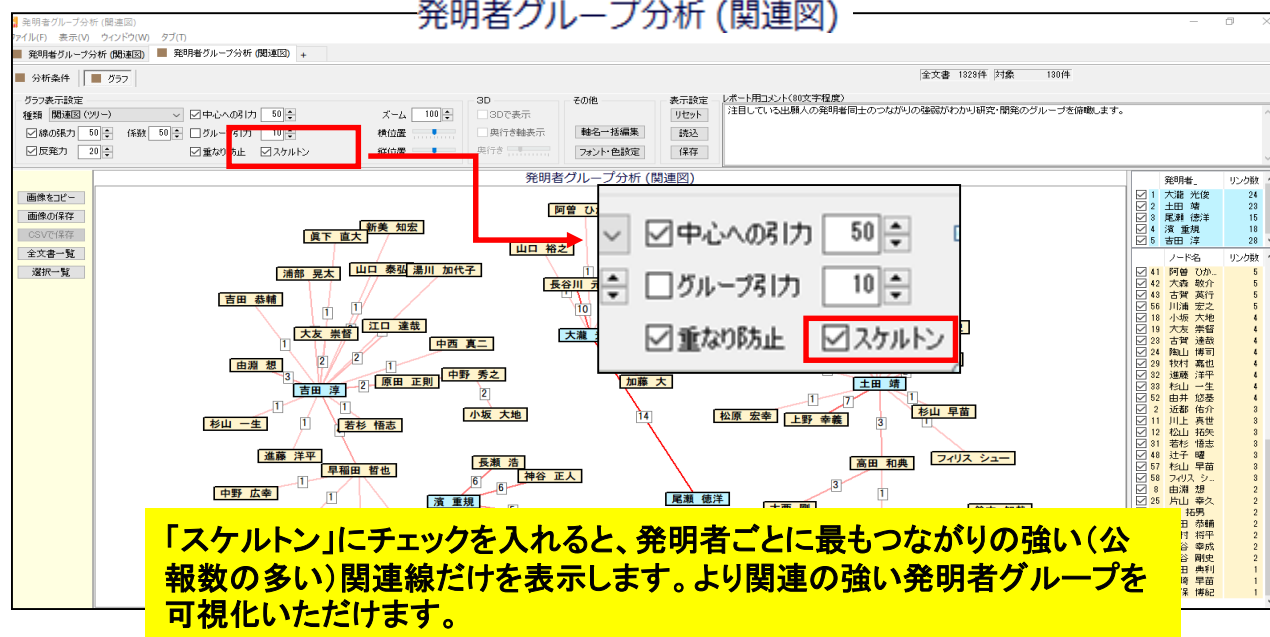
出願人グループ分析(関連図)



<発明者グループ分析>

指定した出願人の発明者のつながりを可視化します。

発明者グループ分析(関連図)



- ✓ 出願人/発明者グループ関連図の作成方法
メインウィンドウ > 戦略分析 > 出願人グループ分析(関連図)/発明者グループ分析(関連図)をクリック。注目する出願人/発明者を選択して分析実行をクリック。
- ✓ グラフ種類タブから「関連図(ミックス)」と「関連図(ツリー)」の異なる表示方法を選択できるようになりました。

- ☑ 戦略分析の「出願人グループ分析(関連図)」「発明者グループ分析(関連図)」、および、ブラウザ(関連図)の右クリックメニューに次の機能を追加しました。
 - ・ 全ノードを固定
 - ・ 全ノードの固定解除
 - ・ ノード位置記憶
 - ・ ノード位置呼出
- ☑ 独自に変更したノード(出願人/発明者)の配置を記憶、呼出する機能を追加しました。

関連図画面の右クリックメニュー

- ノードを固定(L)
- ノードの固定解除(U)
- 全ノードを固定(P)
- 全ノードの固定解除(Q)
- ノードを非表示(H)
- 単独ノードを非表示(N)
- ノード位置記憶(T)
- ノード位置呼出(V)
- PMGSブラウザ(S)
- 中心に配置(F)
- 環状に配置(R)
- 系列毎に縦に配置(Y)
- 系列毎に横に配置(X)
- 画像をコピー(W)
- 線を表示(Z)
- 選択した文書一覧(O)

<ノード位置の記憶手順>

- ① ノード位置記憶
- ② 保存場所を指定
- ③ ファイル名を記入
- ④ 保存をクリック

ファイル名(N): 関連図ノード位置2.ini
ファイルの種類(T): 設定ファイル(*.ini)

保存(S) **キャンセル**

<ノード位置の呼出手順>

- ① ノード位置呼出
- ② 保存場所>ファイル名を選択>開くをクリック

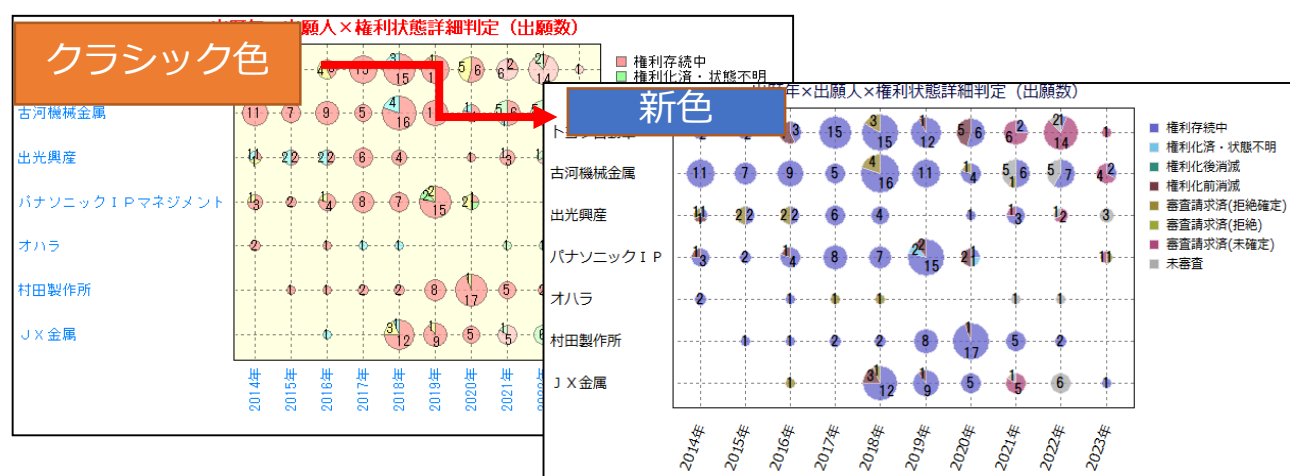
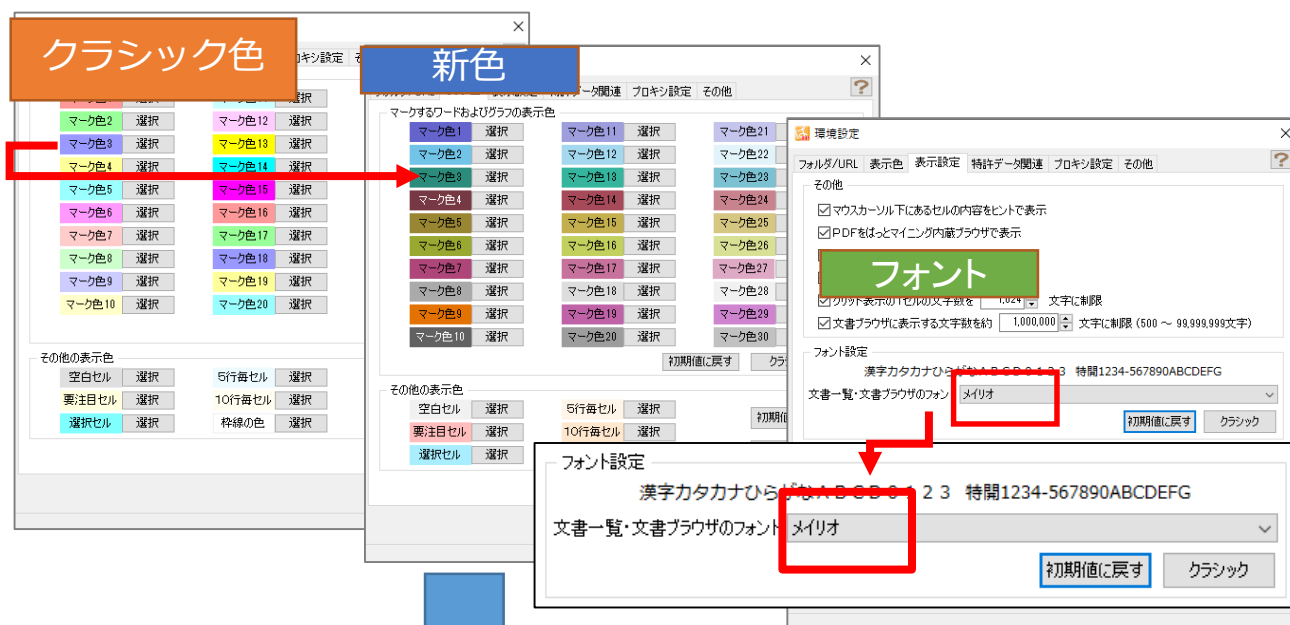
ファイル名(N): 関連図ノード位置2.ini

設定ファイル(*.ini)
開く(O) **キャンセル**

- ☑ ノード位置記憶・呼出しは、関連図の「マイメニュー登録」とあわせてご利用いただく機能です。
 - <記憶時の操作手順>
 - 関連図作成 → ノード位置を変更 → ノード位置記憶 → マイメニューに(関連図)登録
 - <呼出し時の操作手順>
 - マイメニューから関連図を呼出し → ノード位置呼出 → ファイル名を指定 → 開く
- 記憶時と呼出時でデータや分析条件が異なると、正しく再現されませんのでご注意ください。

－ グラフ「色」と「フォント」の初期設定を変更 －

- ☑ ぱっとマイニングJPを新規インストールまたはクリーンインストールした際のグラフ色フォントを改訂しました。
- ☑ 従来のグラフ色設定は「クラシック」色として継続してご利用いただけます。ボタン一つで新色とクラシック色の切り替えいただけます。
メインウインドウ > システム > 環境設定 > 表示色タブ > クラシック(または初期値)
- ☑ 文書一覧と文書ブラウザのフォント(初期設定)を「メイリオ」に変更しました。
フォント設定は「システム > 環境設定 > 表示設定」の「フォント設定」で操作可能です。
※グラフのフォントは、グラフブラウザの「フォントの設定」で変更してください。



- ☑ 新規インストールすると初期設定が新色になります。バージョンアップ時は、従来ご利用されている表示色が適用されます。
- ☑ 「初期値に戻す」「クラシック」をクリックすると、カスタム色はリセットされます。

☑ 俯瞰グラフのサイズ変更が可能になりました。

- ① メインウィンドウの俯瞰グラフボタンをクリックして、俯瞰グラフを表示。
- ② マウスでグラフを選択して大きさを変更します。
- ③ 「再表示」ボタンが有効になりますのでクリックします。
- ④ 変更した大きさでグラフが表示されます。

1 メインウィンドウ > 俯瞰グラフをクリック

2

3 マウスでグラフの大きさを変更

4 再表示をクリックしてサイズ調整

※ウィンドウのサイズを変更した場合は再表示ボタンをクリックして下さい。 再表示 閉じる

※ウィンドウのサイズを変更した場合は再表示ボタンをクリックして下さい。 再表示 閉じる

☑ 俯瞰グラフは母集団の概要を一画面で表示する機能です。
4つのグラフは出願推移、出願人ランキング、IPCランキング、キーワードランキングで固定。
キーワードランキングの詳細(全文や特許請求の範囲等の指定、課題ワードや機能性ワードなどの設定)は、グラフブラウザで設定いただけます。

グラフ軸のフォントサイズもグラフブラウザ画面での設定いただけます。

— 元素名を軸にしてグラフを作成 —

- ✓ グラフ作成時に元素名を軸に選択できるよう「元素名辞書」を追加しました。
- ✓ グラフ作成時の軸は「キーワード」を選択、ワード種別に「元素名」を選択して一覧を更新してグラフを作成します。

グラフブラウザ>軸にキーワードを選択>軸設定をクリック

①ワード種別の「元素名」にチェック
②一覧更新（画面内に元素名の集計結果が表示されます）
③OKボタン → グラフ作成をクリック

元素名（キーワード）を軸にグラフを作成した例

出願人	キーワード	出現数	文書数	データ	グループ
1	87802	1326	リチウム	Li / L I / l i	
2	13792	1238	アルミニウム	Al / a l / アルミ / A L / アルミ...	
3	9362	1090	ニッケル	Ni / N I / n i / ニッケル	

- ✓ 元素名辞書は、グラフ以外の総合ランキング、各種分析でもご利用いただけます
- ✓ 元素名辞書をご利用時は次ページの設定を行ったうえで実行してください

元素名辞書をご利用になる場合は、メインウインドウ(文書一覧画面) > システム > 辞書設定(ワード・グループ辞書)を開き、辞書を並び変えます(辞書の優先順位を設定)

☑ ワード辞書の並び順を次の通り変更してください。

- ユーザー・〇〇.csv(ユーザーワード辞書)
- (00)システム・課題ワード辞書.csv
- (01)システム・元素名ワード辞書.csv ← New
- (02)システム・日本語ワード辞書.csv
- (03)システム・英文字ワード辞書.csv

☑ グループ辞書の並び順を次の通り変更してください。

- ユーザー・□□.csv(ユーザーグループ辞書)
- (10)システム・課題ワードグループ辞書.csv
- (11)システム・元素名グループ辞書.csv ← New
- (12)システム・類語グループ辞書.csv
- (13)システム・接続後グループ辞書.csv

1 システム(S) ヘルプ(H) PMGS(P) ウィンドウ(W) 引用公報(Z)

2 辞書設定 (ワード辞書・グループ辞書) (N)

3 ワード辞書設定 グループ辞書設定

優先順	行数	ディレクトリ	ファイル名
1	3	ユーザー辞書・設定*ワード辞書	(サンプル)ユーザー・日本語ワード辞書.csv
2	4	ユーザー辞書・設定*ワード辞書	(サンプル)ユーザー・英文字ワード辞書.csv
3	6306	システム辞書*ワード辞書	(00)システム・課題ワード辞書-20250815.csv
4	267	システム辞書*ワード辞書	(01)システム・元素名ワード辞書-20250910.csv
5	797058	システム辞書*ワード辞書	(02)システム・日本語ワード辞書-20250225.csv
6	423806	システム辞書*ワード辞書	(03)システム・英文字ワード辞書-20150619.csv
7	796877	システム辞書*ワード辞書	(02)システム・日本語ワード辞書-20230804(旧).csv
8	267	ユーザー辞書・設定*ワード辞書	(01)システム・元素名ワード辞書-20250910.csv
9	4779	システム辞書*ワード辞書	(00)システム・課題ワード辞書-20250225(旧).csv

新規ファイル作成 ファイル追加 ファイル保存 ファイル削除 ファイルを上 ファイルを下

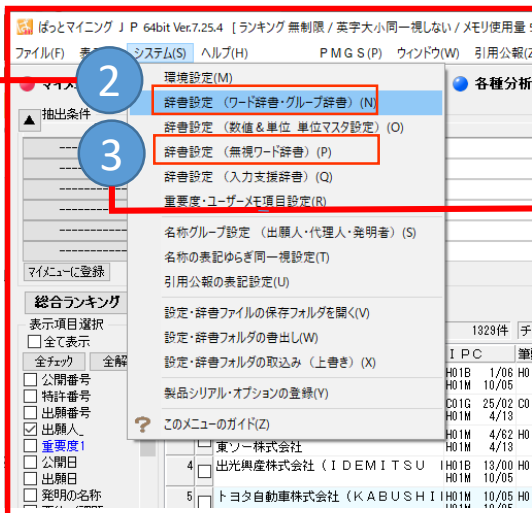
☑ 優先度の高い辞書を上に配置してください(上段にあるユーザー辞書は優先度が高い)。

☑ 画面の「ユーザー辞書」はサンプルです。

— 元素名辞書ご利用方法 —

- ☑ この辞書を使用する際は元素名ワード辞書と元素名ワードグループ辞書のみを有効にします。
- ① メイン画面の“システム”から辞書設定を選択する。
 - ② 「ワード辞書設定」では「(01)システム・元素名ワード辞書」のみ、「グループ辞書設定」では「(11)システム・元素名ワードグループ辞書」のみを有効にします。「大文字小文字を同一視して重複確認」の✓を外す。
 - ③ 無視ワード辞書のシステム辞書を全て無効にする。
 - ④ 上記の辞書設定で、グラフ作成や総合ランキングなどを用いて解析を行う。
- ※ 元素名辞書での解析が終わったら、適切な辞書設定に戻してください。

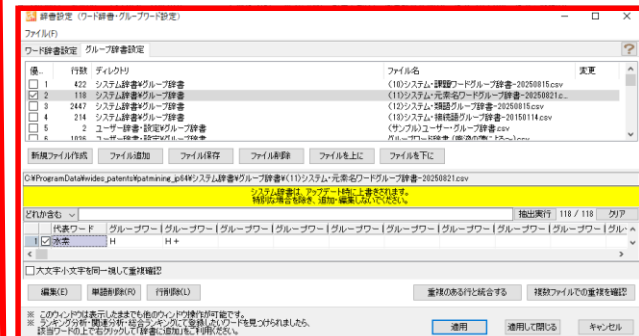
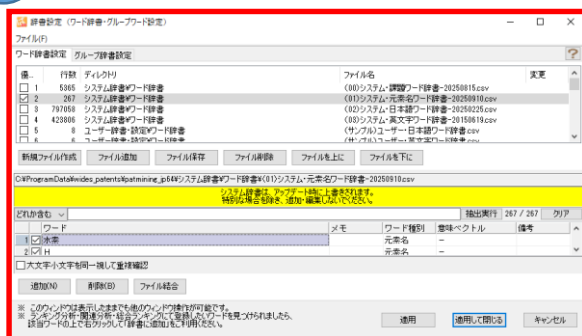
1



辞書設定はメイン画面のメニューから“システム”を選択し、表示されるプルダウンから“辞書設定 (ワード辞書・グループ辞書)”又は“辞書設定 (無視ワード)”を選択して、開いた画面から、有効にしたい辞書に✓を入れたり、無効にしたい辞書の✓を外したりします。

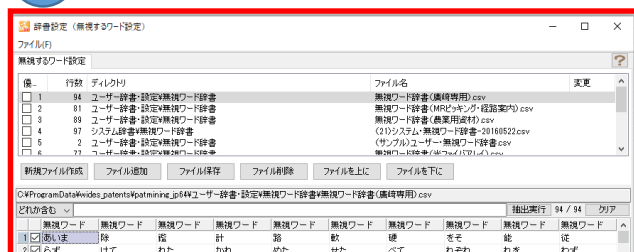
2

システム辞書の✓を外し、(01)システム・元素名ワード辞書、(11)システム・元素名ワードグループ辞書にのみ、✓を入れる。「大文字小文字を同一視して重複確認」の✓を外す。



3

システム・無視ワードの✓を外す。



※元素名辞書を用いた解析が終了したら、システム辞書やシステム・無視ワードを有効にする等、適切な辞書設定に設定しなおしてください。

☑ **注意！！** K(カリウム)、B(ホウ素)などの元素記号が一文字のもの、およびAu(金)の抽出は精度が低くなりがちなことはご了承ください。

－ 元素名辞書ご利用時のワード分解設定 －

- ① 元素を解析に利用する際は、メインウィンドウの「設定確認 > ワード分解設定 > B.ワード分解時の処理 > ワード分解を使用」の「英字・ひらがな・カタカナの大文字と小文字を同一視(※数値&単位検索には影響しません)」のチェックを外します。
- ② 「適用」をクリックして再度、ワード分解を行います。

ファイル(F) 表示(V) システム(S) ヘルプ(H) P M G S (P) ウィンドウ(W) 引用公報(Z) 簡単辞書登録(D) ぱっとクリップ(8) ぱっとごみ箱(G)

マイメニュー おすすめ 文書一覧 グラフ 各種分析 戦略分析 簡単抽出 特許評価 **設定確認**

設定一覧 辞書一覧 **ワード分解設定**

A. 文書データの読み込み時の処理
※ ファイルの「読み込み時の処理」に対応するものです。
「読み込み済みのデータ」は影響を受けませんが、変更後に再度読み込みを行う必要があります。
※ 読み込み時に整形されるため、「整形前の状態」に戻すことができません。

B. ワード分解時の処理
※ ファイルを読み込み後に行う「ワード分解処理」に対応するものです。
設定を変更すると、再度ワード分解を行う必要があります。

B. ワード分解時の処理

※ ファイルを読み込み後に行う「ワード分解処理」に対応するものです。
設定を変更すると、再度ワード分解を行う必要があります。

☒ ワード分解を使用
☐ 辞書を使用せずにワード分解を行う (特許用途)

☒ 未知ワードの先頭が除去用ワードに該当すれば分解
☒ 未知ワードの末尾が除去用ワードに該当すれば分解
☒ ワード分解の完了時に総合ランキングを自動集計

☐ 英字・ひらがな・カタカナの大文字と小文字を同一視 (※ 数値 & 単位検索には影響しません)

漢字・カタカナ・英文字の間での分解

● 1. 漢字・カタカナ・英文字の前後で分解
例: 「ICカード端末」を「IC」「カード」「端末」として分解する。

○ 2. 英文字の前後のみ分解 (漢字・カタカナの連続をひとつのワードと見なす)
例: 「ICカード端末」を「IC」「カード端末」として分解する。

○ 3. 分解しない (漢字・カタカナ・英文字の連続をひとつのワードと見なす)
例: 「ICカード端末」をそのままひとつのワードとする。

漢字・カタカナ が連続している文字列(文字の連続)のワード分解方法

☐ 辞書に登録されたワードの「直前」で、分解
例: 「ジメチル」が未登録、「メチル」が辞書に登録済の場合
「ジ」「メチル」と分解する。

☒ 辞書に登録されたワードの「直後」で、分解
例: 「ハイドロゲン」が未登録、「ハイドロ」が辞書に登録済の場合
「ハイドロ」「ゲン」と分解する。

C. 分析条件等の入力時の処理

☐ アンダーバーと空白、空白除去を同一視 「_」「 」

☐ ハイフンと長音記号を同一視 「-」「ー」

☐ 中黒とスラッシュ記号を同一視 「・」「/」

確認

分析を行うにはワード分解が必要です。
ワード分解を開始しますか？

はい(Y) いいえ(N)

適用 キャンセル

- ☑ チェックを外す(大文字小文字を同一視しない)により、元素記号ではない同じ英文字の羅列を誤認識(ノイズ)する確率が減ります。
- ☑ 元素記号の分析が不要な際は、チェックを入れるようにしてください(元素記号以外の分析では、チェックを入れておくことを推奨しています)